



砂防ボランティア通信

NPO法人

大阪府砂防ボランティア協会

☆ごあいさつ

残暑厳しい折から、会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと思います。

本協会の活動に関しまして、日頃よりいろいろとご協力頂きまして、誠に有難うございます。

今年の梅雨は例年より明けるのが遅く、その末期には九州各地で豪雨に見舞われました。特に熊本県水俣市の山間部では、7月20日の早朝に土石流が起き集落を押し流すという大災害が発生いたしました。

大阪府では6月10日に梅雨入りし、7月26日に明ける迄に総雨量で290mmの降雨があり、降雨量としては平年の306mmよりやや少なかったようでした。それでも局所的には、日雨量で115mm/hや時間雨量で32mm/hの降雨があり、これらの降雨で小規模な道路でのがけ崩れ等の被害が発生しましたが、まずは平穏な方でした。

本協会にとって最も喜ばしいニュースは、6月4日静岡市で開催されました土砂災害防止推進の集い(全国大会)において、栄えある国土交通大臣賞を受賞したことであります。昨年度から緊急雇用事業により急傾斜地の危険箇所点検調査を実施しておりますが、これらの活動とそれに加えて現地調査の際に独自に作成した資料を配布するなど、地域住民に土砂災害防止思想の普及に貢献したことが、その主な理由であります。

これを機に、土砂災害危険箇所の調査、パトロール、技術講習会等の活動に精力的に取り組むと共に、地域住民に対する啓発活動にも一層力を入れて、砂防ボランティア協会の存在を強調して参りたいと考えますので、なお一層のご協力をお願いいたします。

本協会は、今年の3月10日にNPO法人として生まれ変わりましたので、今年度は実質的には初年度に当たりますが、総会を5月28日に開催し、事業計画・予算等を決定いたしました。

主な事業の実施状況ですが、緊急雇用事業による危険箇所点検調査では、今年は時期を早めて4月の第2週から開始しており、盆休みまでに151箇所の調査を実施し、進捗率にして約42%が完了しております。また梅雨期を対象として大阪府・市町村合同パトロール及び土砂災害防止月間講演会に参加して、土砂災害防止活動並びに防災知識の向上に努めました。

これからの年度後半では、緊急雇用事業を引続き来年2月まで実施していくのと、砂防施設見学会、砂防技術講習会等を予定しており、具体的な実施計画が決まり次第、ご案内致しますので、その節は奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

NPO法人 大阪府砂防ボランティア協会

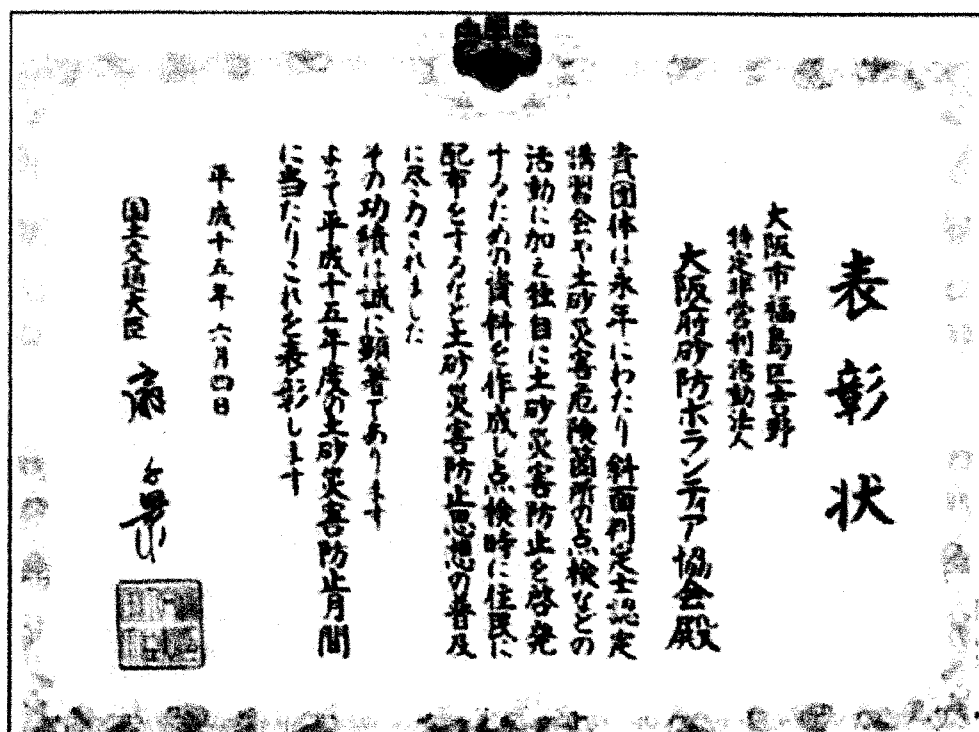
理事長 松村 治

☆平成 15 年度土砂災害防止推進の集い(全国大会)において

国土交通大臣表彰受賞!!

去る6月4日、静岡市の「グランシップ」ホールで開催された標記の大会で、幸いにも国土交通大臣表彰の榮譽に浴しました。

この大臣表彰は、全国で受賞者が4者(1個人・3団体)という貴重な価値ある表彰であり、身に余る光榮に思います。これも偏えに会員の皆様のご尽力と関係各位のご指導の賜ものであると感謝いたすとともに、今年から NPO 法人として新しくスタートした矢先であり、これを機に更にボランティア活動に励み、今迄以上に活発にいろいろな面で活動して参りたいと考えておりますので、よろしくご協力のほどお願い致します。



平成 15 年度土砂災害防止推進の集い(全国大会)での表彰は、以下のとおり行われました。

大会の第一部[式典]の部において、主催者・国土交通大臣挨拶、開催地・静岡県知事の挨拶に引続いて、「土砂災害防止功労者表彰式」が行われました。受賞者が司会者の指示に従って順次登壇するのですが、その間に受賞者の活動状況を示す映像が、正面のスクリーンに映し出され、場内にはナレーションが流されました。当協会の場合は、急傾斜地の点検調査をしている場面と地域住民に対して土砂災害の啓発活動をしている場面等が映され、次のような紹介がなされました。

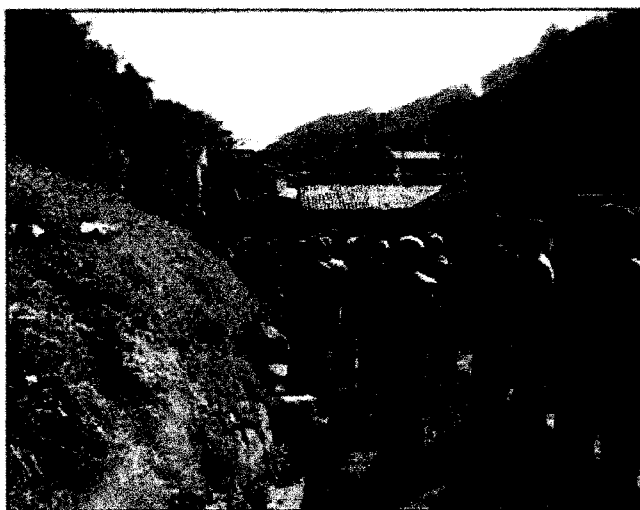
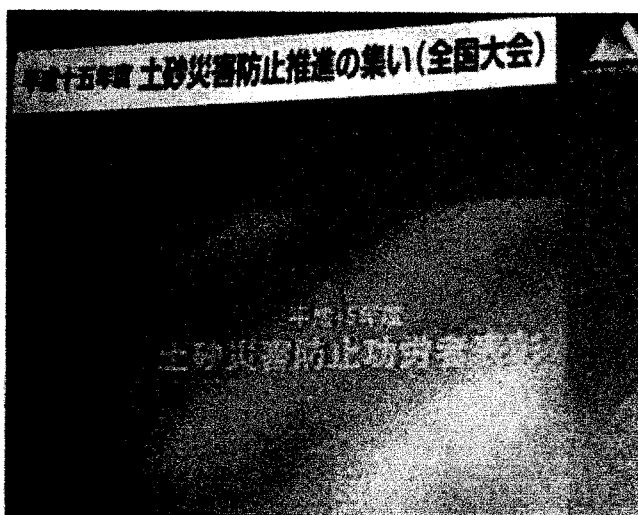
『大阪府砂防ボランティア協会は、阪神・淡路大震災を契機に土砂災害を防止するためのボランティア活動を行うことを目的として任意団体として発足し、平成15年に特定非営利活動法人として登記されました。』

当団体は、斜面判定士認定講習会、現地見学会の開催、ボランティア通信の発行などの活動を行ってきましたが、特に危険斜面のパトロールにおいては、大阪府に約3700箇所ある要点検箇所診断を行うにあたり、安定的に要点検箇所の診断ができる体制づくり（斜面判定士を補助する人員確保）を府に提案し、「緊急地域雇用創出特別基金」の交付を受け14年度には360箇所の緊急診断を行って土砂災害の防止対策の推進に貢献しました。また、独自に啓発広告チラシを作成し、危険箇所の診断時に周辺家屋の人々に配布するなど、土砂災害防止思想の普及に大きく貢献しています。』

受賞者一同、壇上に整列し順次国土交通大臣から表彰状を受けとりましたが、身の引き締まる思いで、感慨無量でした。

そして、この表彰に恥じる事のない様に、今後は更に頑張っていこうと強く決心いたしました。

理事長 松 村 治



☆平成15年度総会開催される

平成15年5月28日(水)午後、NPOプラザにてNPO 法人大阪府砂防ボランティア協会平成15年度総会が開催されました。

平成15年度事業は次に掲げる活動を主体として実施することになりました。

- ① 土砂災害防止のため府内の土砂災害危険個所の点検調査を行ない府・市町村・地域住民に報告、助言を行なう。
- ② 土砂災害防止のための防災知識の啓発、普及活動を行なう。
- ③ 土砂災害防止技術の啓発普及のための見学会講習会などの開催を行なう。
- ④ その他目的を達成するために必要な事業

これにもとづき主な事業としては

- ・ 緊急雇用事業による斜面点検事業
- ・ 大阪府、市町村合同土砂災害危険個所パトロール（府下7土木事務所管内）
- ・ 土砂災害防止推進の集い、砂防ボランティア全国会議への参加
- ・ 大阪府土砂災害防止月間講演会への参加
- ・ 砂防関係施設の見学会
- ・ 土砂災害に関する講習会及び土砂災害に関する現地研修会
- ・ 砂防ボランティア通信の発行

等を実施していくことが承認され新たなスタートを切ることになりました。

〔運営組織の設置〕

協会のスムーズな運営を図るため委員会で構成された運営組織が設置されました。

NPO 法人 大阪府砂防ボランティア協会 組織図

理事長1 副理事長2 監事2					
委員会名	総務委員会		企画委員会	事業委員会	
内 容	予算、規約、会議 委員会、事務局、NPO 法人、 広報、その他	NPO 法人 広報	パトロール、点検 講習会、見学会 斜面判定士	緊急雇用事業	財務
委 員	理事1 委員4	理事1	理事1 委員4	理事1 委員4	理事1

会員の推移

平成15年5月28日現在

項目 会員	人 数	性 格	備 考
正 会 員	50 人	目的に賛同し事業に参加する	14 年度 35 名
賛助会員	15 人	目的に賛同し事業に参加する	14 年度 0 名

※平成14年度までは登録会員は132名おられました。

理 事 藤井 孝雄

★ 緊急雇用事業の斜面点検作業について

○ 概 要

大阪府内には、急傾斜地崩壊危険箇所（崖）896箇所と土石流危険渓流1,009箇所及び地すべり危険箇所145箇所があつて急傾斜地崩壊危険箇所（崖）調査から実施しており、14年度360箇所と今年度は138箇所（平成15年7月末現在）を実施して、その進捗率は約55.5%となっています。

○ 今年度の目標

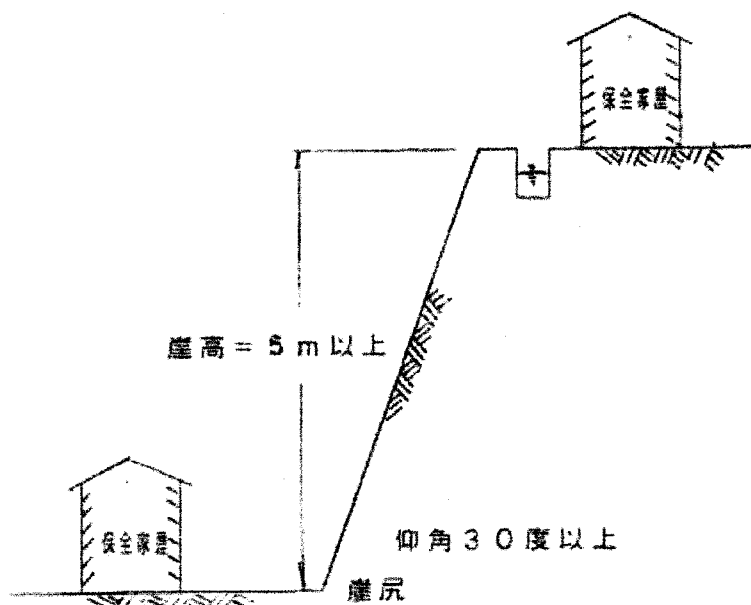
急傾斜地崩壊危険箇所（崖）326箇所と土石流危険渓流17箇所の点検作業を予定しています。

○ 点検作業概要

- (1) 勤務時間 AM9時00分～PM4時30分
- (2) 作業工程 急傾斜地崩壊危険箇所（崖）2箇所/日 土石流危険渓流1箇所/日
- (3) 作業編成 4人《ボランティア会員1人＋調査員3人（ハローワーク採用）》
- (4) 作業手順 ①NPOプラザ出発（レンタカー）②途中会員同乗 ③調査場所
④現地調査 ⑤NPOプラザ帰着（レンタカー）⑥カルテ等作成
⑦完了
- (5) 斜面現地調査の着目点
 - ・既設砂防施設（法枠工、擁壁工、水路工、フェンス工）のコンクリート工等の破損の有無
 - ・斜面及び崖上・下の排水施設が正常に機能しているか
 - ・斜面の安定度（オーバーハング、斜面の段差、崩壊の痕跡、転石、浮石等）
 - ・湧水の状況及び地表の植生の状況
- (6) 地元住民への土砂災害防止の啓発活動
 - ・台風及び集中豪雨等の為、警報（注意報）を発令されたときの注意事項について（例えば崖面に接した部屋は利用しない等）

○ 急傾斜地（崖）の概念図

保全家屋とは、崖上および崖下にある家屋で、崖（急傾斜地）崩れが発生した場合、被災の恐れのある家屋をいう

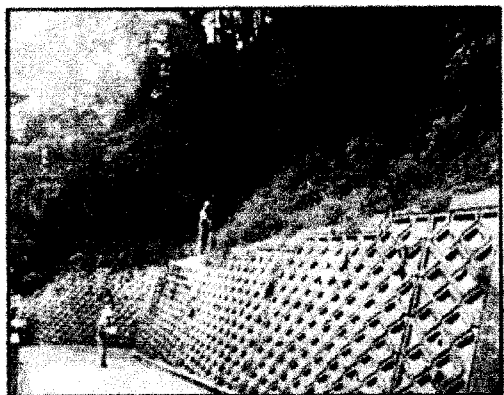


禁止行為

- ① 排水工および水抜孔閉塞
- ② 崖尻の掘削（オーバーハング）
- ③ 崖下、崖上の不法工作物の建立
- ④ 崖上の雨水滞留行為

斜面保全

- ① 崖上、斜面（崖面）、崖下の草刈り
- ② 表面排水工の清掃
- ③ 間伐材の伐採、倒木の除去等



現地調査状況その1



現地調査状況その2

理 事 野口 司郎

★ 土砂災害防止月間における各種行事への参加について

○ 府下7土木事務所管内における土砂災害合同パトロール実施状況

実施期間	参加人員	点検内容			計
		急傾斜地	土石流	地すべり	
6月2日～10日	11名	25箇所	14箇所	3箇所	42箇所

○ 平成15年度土砂災害防止講演会開催

平成15年6月25日大阪ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）において「スローガン・みんなで防ごう土砂災害」をテーマに行なわれました。

- ・ 会員参加者 26人
- ・ 講師 国土交通省河川局砂防部 砂防計画課 大野宏之砂防計画調整官他

理 事 沖田 誠一